

廃棄物処理計画の施策の取組状況について

1 概要

第9次千葉県廃棄物処理計画に係る点検・評価として平成28年から令和2年度までの施策の取組状況等を取りまとめました。また、第10次千葉県廃棄物処理計画に係る点検・評価について、令和3年度における施策の取組状況等を取りまとめました。

【取組指標について】

第9次計画の点検・評価は、従前の方法に従い、各施策の取組状況の評価を○、△、×の三段階で自己評価していますが、第10次計画からは、取組の指標を可能な限り定量的に設定した上で、その進捗を数量的に評価することとしました。なお、施策の性質により、指標の定量化が困難なものや適切ではないものについては、事業の実施の有無など定性的に評価しています。

2 第9次廃棄物処理計画の施策の取組状況について

第9次千葉県廃棄物処理計画の計画期間である平成28年度から令和2年度までの各施策の取組状況を資料2-1（1頁～30頁）のとおり取りまとめました。取組状況については、○、△、×の三段階で自己評価をしていますが、「○」は各事業について満足ができる取り組みができたもの、「△」は若干不十分な面はあるものの概ね満足できる取組ができたもの、「×」はあまり進捗していないなど満足できる水準に至らないもの、としており、全69項目のうち、○は67項目、△は2項目、×はありませんでした。

なお、自己評価を「△」とした2事業について、各事業課は次のとおり理由をあげています。

(1) 下水汚泥等の資源化利用の推進（資料2-1 p14 参照）

東京電力福島第一原発事故による放射性物質の影響を受けたため、下水汚泥を利用した固形燃料化等の推進の事業について着手を見送りました。

なお、下水汚泥等の資源化・エネルギー化の検討に着手しました。

(2) 海岸漂着物の発生抑制対策の推進（資料2-1 p22 参照）

間伐を中心とした適切な森林整備を行いました。小規模な森林所有者が多いこと及び林業の採算性の低いこと、また、令和元年度台風以降は大規模な風倒木被害の処理作業が続いており、作業効率が低下していることにより、県総合計画に定める森林整備面積の年度目標を達成できませんでした。

なお、啓発動画や啓発物品を作成し、発生抑制対策を行いました。

3 第10次廃棄物処理計画の施策の取組状況について

第10次千葉県廃棄物処理計画の計画期間である令和3年度から令和7年度までの各施策の取組とその取組指標、及び令和3年度の取組状況を資料2-1(31頁～79頁)のとおり取りまとめました。

なお、定量的な指標を設定した施策について、「進捗状況」欄に最新の数値を記載していますが、現時点で最新の数値が未確定のものについては、「-」としております。

また、定量化が困難な施策については、設定した指標の取組の有無について、○、×で評価することとし、災害時に実施する施策など、現時点で実施することができない業務については、「-」としています。

全83項目のうち、○は79項目、-は2項目、×はありませんでした。